

地域薬剤師が関わる地域包括ケアシステムと骨粗鬆症

日 時 2026年9月13日(日) 13:30 ~ 15:00
会 場 第2会場 (2F メインホールA)
座 長 宮原 富士子 (NPO法人 Healthy Aging Projects For Women) 、
若林 広行 (新潟薬科大学薬学部)

3-SY30-1

法の制度としての「かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局・地域連携」の責務としての骨折予防の取り組み

宮原 富士子 (NPO法人HealthyAgingProjectsForWomen/ケイ薬局)

OLSにおける薬剤師のポジションと地域啓発を、制度の視点から整理する。二次性骨折予防継続管理料の施設基準に「薬局」が明記された意義を確認し、住民との対面率が最も高い薬局薬剤師が、早期発見・早期治療・継続治療の地域HUBとして機能しうることを示す。

3-SY30-2

女性アスリートの健康と幸せを守る薬剤師 – スポーツファーマシストとして –

杉山 育美 (岩手医科大学薬学部医療薬科学講座)

女性アスリートは利用可能エネルギー不足による視床下部性無月経から骨粗鬆症リスクが大幅に増大する。JADA認定スポーツファーマシストとしてのアンチ・ドーピング支援に加え、低用量ピルという選択肢の啓発など、引退後も幸せに生き続けるための関わりを述べる。

3-SY30-3

骨粗鬆症治療に地域で取り組む – 福岡市薬剤師会「福岡Boneアーバンモデル」

野口 時恵ほか (一般社団法人福岡市薬剤師会/九州大学大学院薬学研究院 ほか)

ビスホスホネート内服薬の1年服薬継続率向上を目指し、チェックシートを用いた服薬指導の効果を後ろ向きコホート研究で検証。実施群で1年継続率が有意に高く、男性より女性で有意に高値であった。薬局薬剤師の長期的・継続的な関わりの意義を示す。

3-SY30-4

骨粗鬆症治療薬（院内・院外）の情報共有の可視化の取組

松崎 登志子ほか (株式会社くすりのマール調剤薬局谷川瀬店)

院内注射を含む治療状況を記載する「お薬手帳シール」と「自己注射治療状況報告書」を作成・運用。医科・歯科・薬局間で治療状況が一目で把握でき、適応外期間の処方見直し、副作用発見による治療中止、アドヒアランス向上に寄与した。